

テニスの聖地

ウィンブルドン。

「環境」の聖地

でもありません。

ぼくらは「環境」と

どう向き合えばいいのだろうか？

岩本先生、教えてください。

私の授業「英国の環境保護」で訪れる

ウィンブルドン入会地。

社会が激しく変動していた19世紀なかば過ぎ、

風光明媚なこの土地に

開発問題が持ち上がったことがあります。

入会地をその危機から救ったのは他でもない、

産業革命を推進してきた有産階級の人たちでした。

彼らを突き動かしたのは当時の公害や

緑の破壊への憂い、そして、美しい田園風景や

伝統的な建築といった「イギリスらしさ」を

未来に伝えたいという思いです。

議会が動き、ついにこの土地の開発は中止されました。

100年先の国のあり方、暮らしのあり方を見すえた

彼らの考え方やふるまい。そのバトンを受け継いで、

自然を守り続ける現在の人々。

その姿勢は、私たちに環境との向き合い方を

教えてくれている気がします。



和光3分大学

心理教育学科

准教授 岩本陽児



ひとりを光らせる

和光大学